

# デートDV 予防教育の義務化を！

交際相手への暴力



デートDVは  
10代のカップルの  
3組に1組で  
起きています

交際相手や  
元交際相手を  
殺してしまう事件が  
頻繁に起きています



令和元年警察庁  
「ストーカー事案の相談件数」は  
20,912件。  
被害者と加害者の関係では  
交際相手が42.6%でトップ。  
被害者の年齢では10～20歳代が  
45.3%を占める。

平成28年「全国デートDV実態調査」

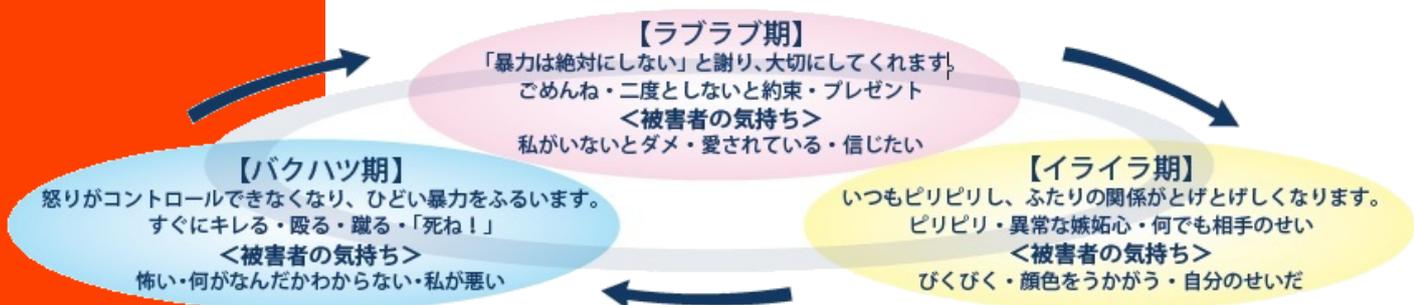
交際経験のある人		一つでも被害	一つでも加害
全体	N=1329	38.9%	20.8%
女性	N=894	44.5%	21.0%
男性	N=435	27.4%	20.5%

## 深刻な性被害もあります

- 「返信が遅いと怒る」\* (女性24.2%、男性13.3%)
- 「他の異性と話をしないと約束する」(女性15.4%、男性11.5%)
- といったことから、「別れたら死ぬと言う」(女性11.4%、男性5.5%)
- という脅迫や、「首を絞める」(女性2.8%)という身体的暴力、そして
- 「嫌がっているのにセックスをする」(女性6.0%)
- 「避妊に協力しない」(女性6.2%)
- 「裸や性行為の写真や動画を撮る」(女性4.7%)
- 「裸や性行為の写真を撮りたい、送ってほしいと要求する」(女性9.6%)
- といった深刻な性犯罪や性暴力も起きています。
- \* ( ) 内は上記調査での被害率

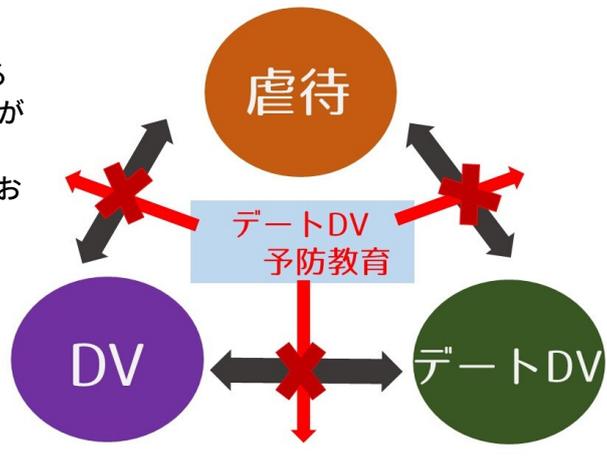
デートDVの特徴  
「当事者が  
気づきにくい」  
「別れることが  
難しい」

DVサイクルの中で暴力は繰り返されエスカレートする



# デートDVがエスカレートし、DVや虐待へと発展


 交際相手からの被害経験のある女性のうち約6割が（56.6%）が配偶者からの被害経験もある。（平成29年度内閣府「男女間における暴力に関する調査」）



**DVと虐待の連鎖を断ち切るために…**

## デートDV予防教育が有効



### 講座に参加した 高校生の感想

- ・自分はされたり、したこともありませんが、やられた人は絶対辛いし、嫌な気持ちになっていると思うので、もし自分がその立場になったら相手に意見を言える関係でたいです。（女子）
- ・自分はそんなこともやりたくないし、やられたくもない。こんなことがない社会になるようにしたい。（男子）
- ・もし自分の友達がデートDVに巻き込まれていたら助けてあげたいと思いました。（女子）

## デートDV予防教育は年間1265回

2019年度「デートDV予防教育実施状況調査」では、回答した79団体が2018年度に実施したデートDV予防教育は1265回。小学生から大学生までの185,731人が受講しています。



### デートDV予防教育 実施状況調査報告書

デートDV予防・防止活動に関わる多くの団体の協力を得て「デートDV 予防教育実施状況調査」を行ない、回答のあった79団体（個人を含む）の結果を集計し報告書としてまとめました。  
 A4サイズ・40ページ  
 2020年3月1日発行

## デートDV防止全国マップ



デートDV防止全国マップに掲載されている「予防教育の派遣」を行う団体や機関は、123箇所。

**NPO法人デートDV防止全国ネットワーク 設立：2018年11月1日**

目的：全国でデートDV防止や支援に関わる活動をしている機関、団体、個人に対して、  
 予防教育の普及を促進するための調査研究や政策提言、当事者支援のための連携、  
 啓発活動等に関する事業を行い、デートDVのない社会の実現に寄与する。

お問合せ先：ddvbousinet@yahoo.co.jp 電話：045-323-1818 ホームページ：https://notalone-ddv.org/